

# Phonak Target 5.2

2017年8月



## デスクトップフィッティングガイド



フィッティング ソフトPhonak Targetは、補聴器の専門家が、装用者特有のご要望に合わせて補聴器を設定、プログラム、フィッティングするための製品です。本書では、Phonak Targetを使用した補聴器のフィッティングについて詳しく紹介します。

Phonak Targetのスタート画面の【ニュース】もご覧ください。

### 目次

構成およびナビゲーション.....	2
補聴器の準備.....	2
機器の接続.....	2
レシーバ チェック.....	3
音響パラメータの確認.....	3
アクセサリー.....	3
ハウリングと実耳テスト.....	4
基本調整.....	4
微調整 .....	5
フィッティングセッションの終了.....	9
シンボルマークの情報と説明.....	9
システム要件.....	10

## 構成およびナビゲーション

3つのタブ【顧客】、【機器】および【フィッティング】および上部のダッシュボードを使用して、容易にナビゲーションしたり状態の情報を取得したりできます。

ダッシュボードにはフィッティングの状態とショートカットが表示されます。



個人情報やオージオグラムなどの全ての顧客情報は「顧客」のタブ上にあります。

全ての補聴器、音響カプリング、リモコンおよびその他のアクセサリーは「機器」のタブ上にあります。

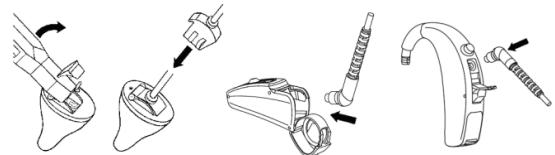
機器の調整は全て「フィッティング」のタブ上で行います。

## 補聴器の準備

### アイキューブ/アイキューブ II/ノアリンク ワイヤレス

補聴器にケーブルは必要ありません。電池を挿入し、電池ホルダーを閉めて補聴器の電源をオンにするだけです。

充電式の場合は、そのまま補聴器の電源を入れます。



### NOAHlink または HI-PRO

プログラミングケーブルを補聴器とフィッティング機器に接続します。

## 機器の接続

使用したいフィッティング機器が表示されていることを確認します。

フィッティング機器を変更するには、アイコンの右側にあるプルダウン(▼)を使用します。

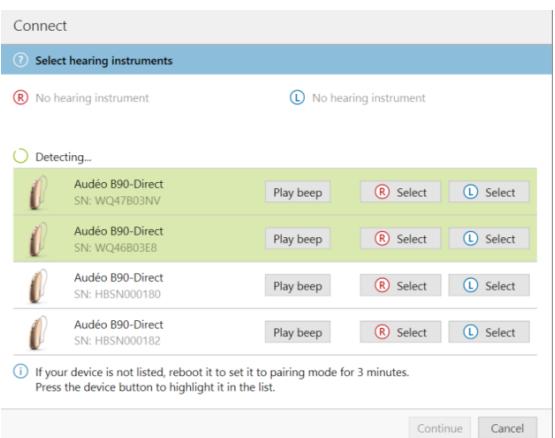


【接続】をクリックしてフィッティングを開始します。接続した補聴器がダッシュボードに表示されます。新しいフィッティングにおいては、フィッティングセッションにある情報を基に推奨された顧客の経験レベルが表示されます。

オーデオ B ダイレクトの場合:

- ペアリングに使用できる製品は、自動的に表示されます。
- 製品が見つからない場合、電池ホルダーを開閉し、補聴器をペアリング モードに設定してください。
- 複数の製品が利用できる場合や、顧客に割り当てる側を確認するには、補聴器のプログラムスイッチを押してそれをリストでハイライトしてください。

NOAHのオージオグラムデータが自動的にPhonak Targetにインポートされ、初期計算に使用されます。

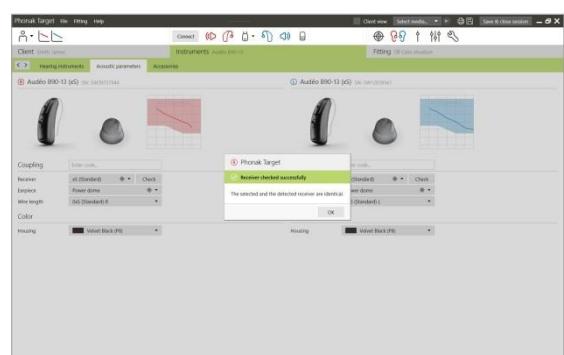


## レシーバ チェック

最初に補聴器を接続した時に、オーデオ Bに接続されているレシーバが、[音響パラメータ]画面で選択されているレシーバと一致しているかどうかを、Phonak Targetが自動的にチェックします。

一致していない場合は、Phonak Targetがその旨を通知し、レシーバをチェックするように指示するメッセージが表示されます。その場合、レシーバを取り替えるか、音響パラメータの選択を変更することができます。

レシーバの再チェックを開始するには、[音響パラメータ]画面で [チェック] をクリックします。

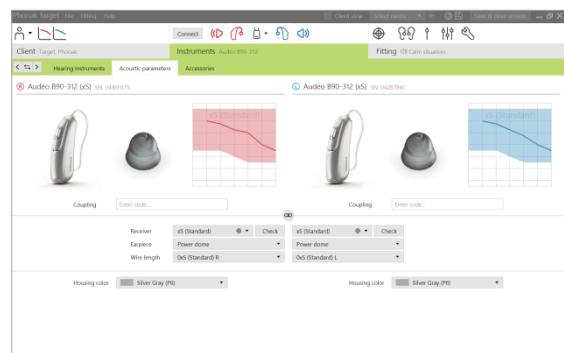


## 音響パラメータの確認

音響パラメータが同じ場合、Phonak Targetにより自動的にリンクされます。音響パラメータの表示、変更、またはリンク解除を隨時、行うことができます。

[機器] タブをクリックします。

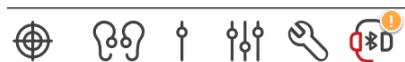
[音響パラメータ] 画面で、適切なカプリングを選択します。



## ハンズフリーのブルートゥースの電話(オーデオ B ダイレクトのみ)

オーデオ B ダイレクトをフィッティングする時に、ブルートゥースを使用してハンズフリー通話を行う側が、[R] もしくは [L] であることを確認し変更するため、Phonak Targetは、ユーザーに対して自動的に注意を促します。これは、顧客自身の声を受信する側と顧客がハンズフリーでのブルートゥース通話を受信する側となります。

ハンズフリーのブルートゥース通話に使用する側を割り当てるには、[R] または [L] を選択します。



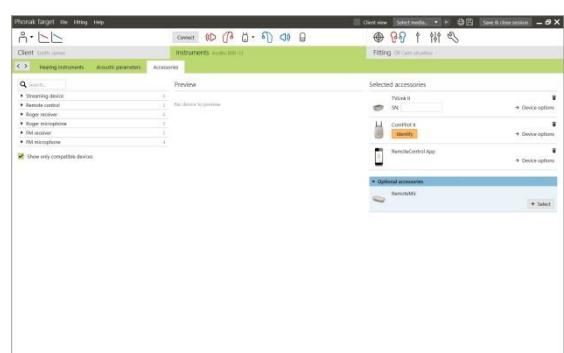
## アクセサリー

Phonak Targetは、接続されたアクセサリーを自動的に認識します。フィッティングセッション中にアクセサリーを接続するだけです。認識されたアクセサリーは、ダッシュボード上で、接続された補聴器の横に表示されます。

フォナック パイロットワンにUSBケーブルを差し込む前に、必ず電池を取り外してください。

アクセサリーは、[機器] > [アクセサリー] タブで手動で選択することもできます。

保存処理中に、アクセサリーが保存ダイアログにリストされます。

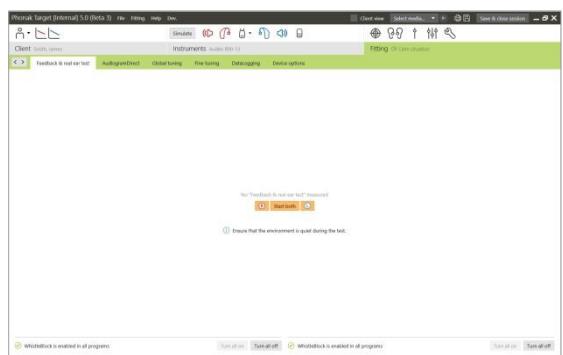


## ハウリングと実耳テスト

[フィッティング]タブをクリックし、[ハウリングと実耳テスト]にアクセスします。画面下部の[全てオン]をクリックすれば、ハウリング抑制機能が有効になります。

[右]、[両耳で開始]、[左]のいずれかをクリックして、テストを実行します。テストは両耳を中断なく連続して実行することも、片耳ずつ実行することもできます。

テスト結果を使用して予測RECDおよび音響パラメータ設定を計算するには、[算出したRECDとベントを使用して補聴器設定を再計算します]のチェックボックスに□を入れます。



## オージオグラムダイレクト

[オージオグラムダイレクト]をクリックし、接続した補聴器を使用して聴力レベルおよびUCLを測定することができます。

[オージオグラムダイレクトを開始]をクリックして、画面の指示に従ってください。

気導の閾値には、好みで[断続音]を選択できます。

[履歴]を開くと、以前の聴力測定結果と比較して、聴力レベルの経緯を確認することができます。

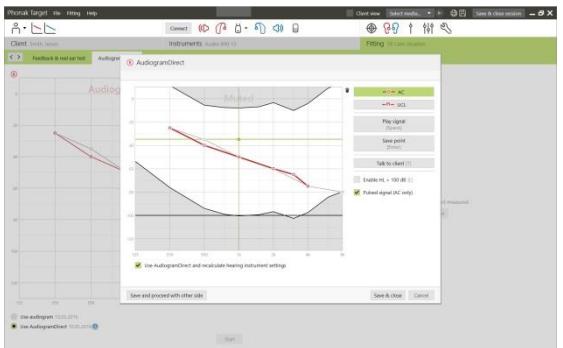
Phonak Target セットアップ(スタート画面からアクセス)で、希望する測定動作を決定することができます。

## 基本調整

利得レベル、閉塞感対処、圧縮比の調整が必要な場合は、[基本調整]>[初期フィッティング]で調整してください。

[耳鳴りノイズ・バランス]ツールは、画面下部にあるタブからアクセスできます。

利得レベルおよび圧縮比設定は、顧客の装用経験および選択されたフィッティング処方に基づいています。

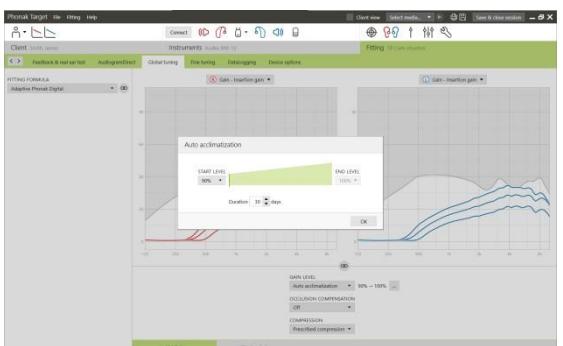
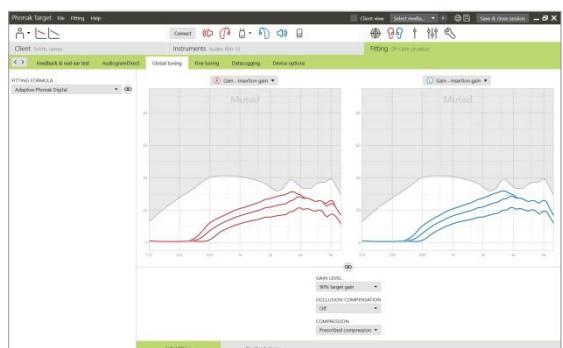


## 自動順応マネージャ

[初期フィッティング]タブの[利得レベル]メニューで[自動順応マネージャ]を選択します。これはすべてのフォナック クエストおよびベンチャー補聴器で利用できます。

[...]をクリックして、開始時のレベル、終了時のレベル、および設定した開始時から終了時までの期間を設定します。

自動順応マネージャを使用するには、[ハウリングと実耳テスト]をあらかじめ実行する必要があります。



## リアルタイム・ディスプレイ

[顧客表示]をクリックすると、リアルタイム・ディスプレイを表示することができます。拡大表示、またはマルチディスプレイで表示されます。

リアルタイム・ディスプレイは、フィッティングカーブ表示オプションとして使用できます。

語音明瞭度の改善や、利得・出力、サウンドリカバーおよびマルチチャネル信号処理をステレオまたはサラウンドサウンドのメディアファイルを用いて容易に実演することができます。



## 微調整

[微調整]画面の左側は、調整するプログラムの選択に使用します。

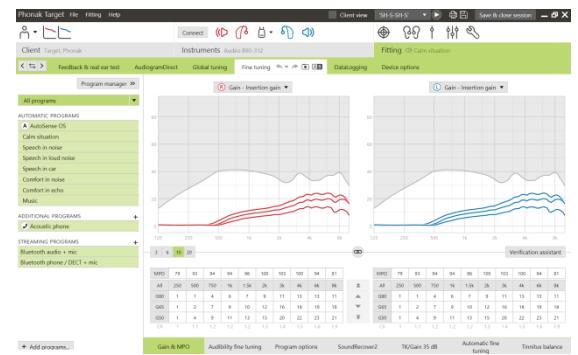
[全てのプログラム]をクリックすると調整変更は全プログラムに反映され、[オートセンス OS]をクリックするとオートマチックプログラムの変更ができます。個別のプログラムを変更したい場合は、変更したいプログラムを個別でクリック、選択します。

例) [静かな環境]だけを変更したい場合は、対象のプログラムだけを選択してください。

[+]アイコンをクリックして、手動、イージー、またはストリーミング用プログラムを追加します。

プログラム上部の[プログラムマネージャを開く]をクリックして、プログラムを管理することができます。これにより、さらにプログラムの詳細を設定することができます。

アンドゥ/リドゥ機能は、画面上部のメニューバーにあります。微調整画面で手順をアンドゥ（元に戻す）またはリドゥ（やり直し）する場合は、これをクリックします



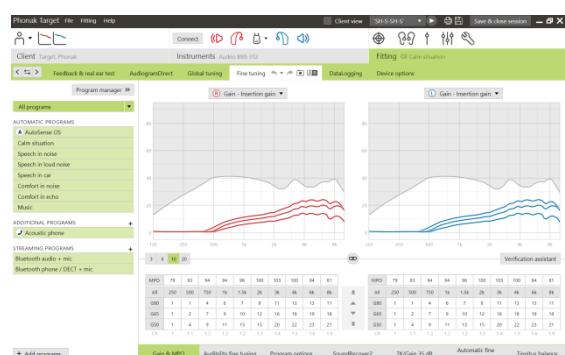
画面下部のタブから、フィッティングツールにアクセスできます。各ツールでは、特定の補正を行って補聴器を微調整することができます

## 利得&MPO

マウスカーソルで変更したい利得値を選択して調整します。小さい、普通、大きい入力音、および大きい入力音に対して調整できます。個々のUCL値を顧客のオーディオグラムに入力した場合、ダイナミックレンジを使用できます。

全てのチャンネルのMPOを一括して変更するには、MPO値の左側の[MPO]をクリックします。全体の利得は[全て]をクリックして変更することができます。

各チャンネルの圧縮比は、利得値のすぐ下の行に表示されます。

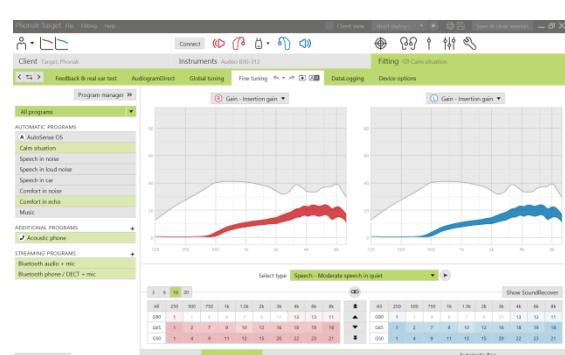


## オーディビリティ・ファインチューニング

選択可能なサウンドサンプル音と関連する利得がカーブ表示に示されます。サンプル音を再生して、特定の聞き取り環境をシミュレーションすることができます。

小さな音、普通の大きさの音、大きめの音の入力音に対する利得値が表示されます。調整変更は利得レベルと選択した刺激音の可聴性を改善するために関連する周波数のみに作用します。

赤色は右耳で青色は左耳で表示されています。



## プログラムオプション

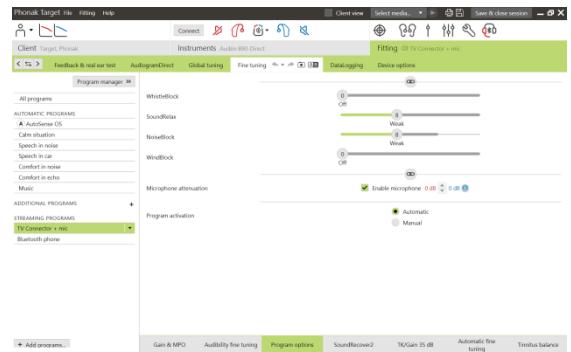
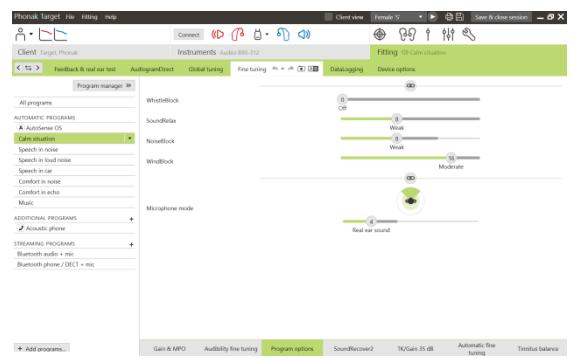
補聴器の各機能は、必要に応じて個々に微調整することができます。現在の設定は、0から20までのスケール上に位置し、各スケール内に使用可能なレンジが表示されます。

追加プログラムとして、自由にカスタマイズできる「カスタムプログラム」を使用することができます。

データログが使用可能な場合、フレックスコントロールで行われた各パラメータの変更が後続のセッションで表示されます。

オーデオ B ダイレクトの場合は、顧客によるダイレクトのストリーミングの評価方法に関するデフォルトの動作を、次のように変更できます。

- [オートマチック]アクティブ化を選択すると、補聴器は自動的にストリーミングを開始します。
- [マニュアル]アクティブ化を選択すると、補聴器は通知を再生し、顧客は利用可能なストリームに手動で同意できます。
- [オートマチック]または[マニュアル]を選択し、デフォルトのストリーミング動作を変更し、顧客のニーズに個別に対応してください。



## サウンドリカバー2/サウンドリカバー

ファーストフィットで設定されたそれぞれのサウンドリカバーの設定値は微調整できます。両耳フィッティングの場合は、カットオフ周波数および周波数圧縮比が比較的聞こえる側の聴力レベルに基づいて計算されます。

一セッション中に互換性のない補聴器をフィッティングする場合は、サウンドリカバー設定を確認してください。

### サウンドリカバー2

顧客の可聴性または識別性好みに合わせて、サウンドリカバー2の強度を設定します。

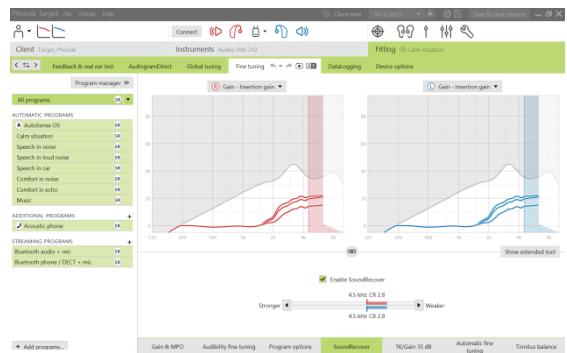
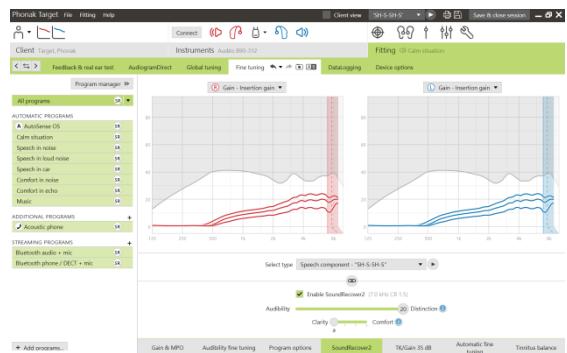
可聴性では、高音域の音をよりよい低音域領域にシフトしてよく聞こえるようにし、識別性はS(スッ)やSH(シュッ)などの可聴高音域の音を区別しやすいやうにします。

可聴性と識別性の設定により、明瞭性と快適性の設定を調整してください。

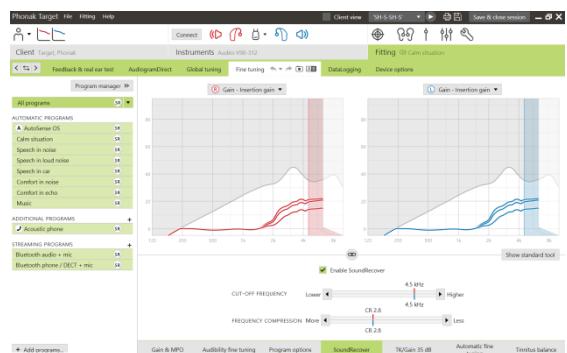
快適性は、男性の声、自分の声、または音楽などの音をより自然な音にします。明瞭性は、高音域の音が変化しているように聞こえるようであれば、可聴性と識別性を調整します。

### サウンドリカバー

周波数圧縮の強度は、語音明瞭度、可聴性、音質を向上させるよう、好きなように上げ下げできます。



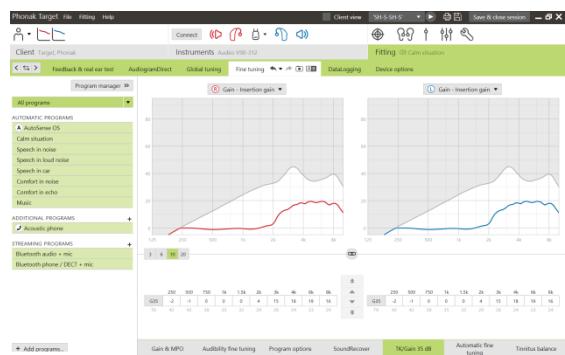
サウンドリカバーのフィッティングツールを拡張して、カットオフ周波数や圧縮比を個別に調整することもできます。これには、[拡張ツールの補正を表示]をクリックします。



## TK/利得 (35 dB)

非常に小さい(G35)入力音の増幅は、この画面で調整することができます。非常に小さい音の利得を増加すると、エクスパンションニーポイント(TK)が低くなります。逆も同様です。

マウスカーソルで値を選択して調整します。利得値の下に、各チャンネルのTK値が表示されます。非常に小さい入力音の利得/出力が、カーブ表示に示されます。

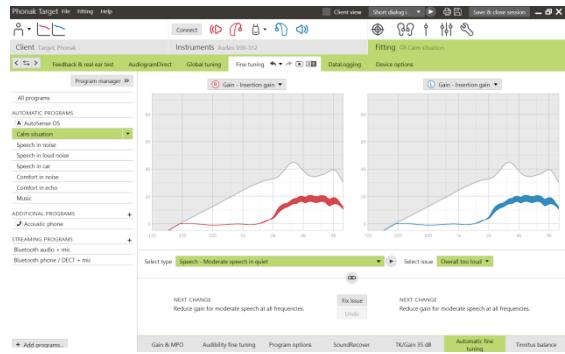


## オートマチック・ファインチューニング

これは状況に応じた微調整ツールです。使用可能な調整は、音環境の顧客の評価によって異なります。

調整のステップが画面に表示されます。選択したプログラムに応じて、推奨されるサンプル音が事前選択されます。

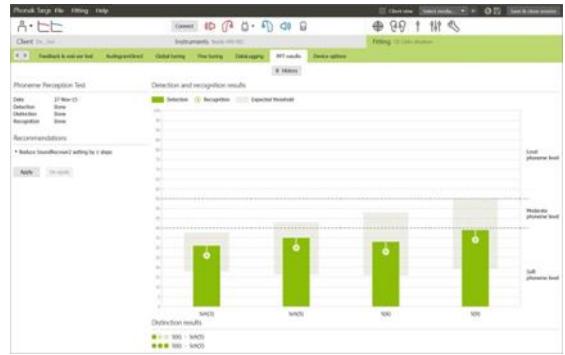
サウンドサンプル音を再生して、聞き取り環境をシミュレーションすることもできます。



## 音素認識テスト結果

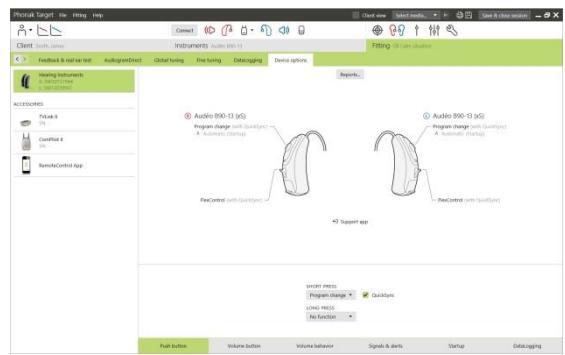
直前の音素認識テストの結果を表示したり、テスト結果からフィッティングを改善することができます。[音素認識テスト結果]画面は、互換性のあるテスト結果がNOAHのセッションリストで使用可能な場合のみアクセスすることができます。

注意：フィッティング処方アダプティブ・フォナックデジタルを使用している場合のみ、微調整の推奨が提供されます。ユーザー志向ラーニングがオンの場合、微調整の推奨を適用することはできません。



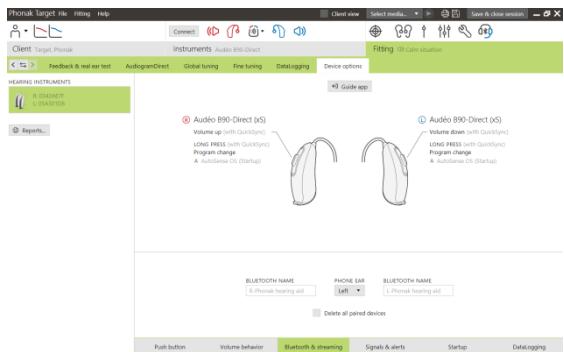
## 機器オプション

[機器オプション]をクリックして、ビープ音の設定などの補聴器のオプション、選択したアクセサリーのオプションを設定できます



## オーデオ B ダイレクトの場合:

- 電話の側の構成やブルートゥースのペアリングの管理など追加の設定については、[Bluetooth & ストリーミング]タブをクリックして閲覧してください。



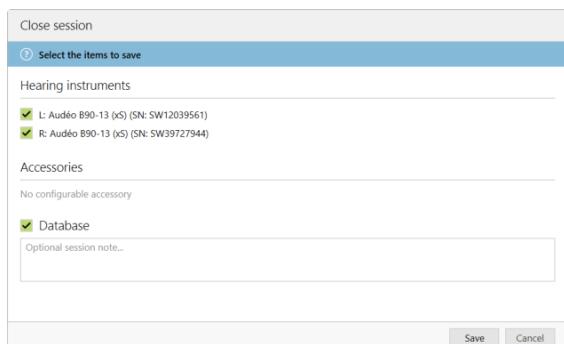
## フィッティングセッションの終了

画面右上角の[セッションを閉じる]をクリックして、いつでもセッションを閉じることができます。

保存ダイアログで、「補聴器へ保存」と「アクセサリへ保存」にチェックが入っていることを確認します。

保存後、ダイアログを閉じるとTargetのスタート画面に戻ります。

NOAH版の場合、スタート画面の右上角の[NOAHに戻る]をクリックすると、NOAHに戻ることができます。



## シンボルマークの情報と説明



CE 記号は、アクセサリー類を含む製品が医療機器指令文93/42/EEC とR&TTE 指示文1999/5/EC のラジオと通信機器・送信機の基準を満たしていることを示しています。CE 記号に続く番号は、フォナック社に対し指導した公認機関コードを表します。



この記号は、製造工場が医療機器指令93/42/EECの基準を満たしていることを示しています。



医療機器を識別できるようにメーカーのカタログの番号を示しています。



使用説明書を参照してください。ウェブサイト [www.phonakpro.com](http://www.phonakpro.com) (英文) で閲覧できます。

## システム要件

オペレーティング システム	<ul style="list-style-type: none"><li>Windows 10、Home / Pro / Enterprise</li><li>Windows 8 / 8.1、最新SP、Pro / Enterprise</li><li>Windows 7、最新SP、Home / Professional / Business / Enterprise / Ultimate</li><li>Windows Vista、SP 2、Home / Business / Enterprise / Ultimate</li></ul>
プロセッサ	Intel Core以上の性能のもの
メモリ	4 GB以上
ハードディスク空き容量	3 GB以上
画面解像度	1280 x 1024ピクセル以上
グラフィックカード	表示色数1600万色(24ビット)以上
ドライブ	DVD
シリアルCOMポート	RS-232 HI-PROを使用する場合のみ
USBポート	以下の各目的に1つずつ: <ul style="list-style-type: none"><li>Bluetoothアダプタ</li><li>アクセサリー プログラミング</li><li>HI-PRO、ただしUSBポート経由で使用する場合</li><li>Noahlink Wireless</li></ul>
プログラミングインターフェース	Noahlink Wireless / iCube II / iCube / NOAHlink / RS-232 HI-PRO / HI-PRO USB / HI-PRO2
NOAHlink ドライバー	最新バージョン
Noahlink Wireless	Windows Vistaはサポートされていません。
Noahlink Wireless driver	最新バージョン
インターネット接続	推奨されています
サウンドカード	ステレオまたはサラウンド5.1
再生システム	20 Hz - 14 kHz (+/- 5 dB)、90 dB
NOAHのバーション	最新バージョン(NOAH 3.7以上) Windows 64ビット オペレーティング システム用のNOAHの制限事項を <a href="http://www.himsa.com">http://www.himsa.com</a> で確認してください。

CE マーク2017適合



メーカー:

ソノバ AG  
Laubisrütistrasse 28  
CH-8712 Stäfa  
Switzerland



058-0125-052 フォナック ターゲット5.2 DVD